

事務事業名	加茂スマートIC整備検討事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	国県事業G	課長名	嘉本 俊一
総計画的体系的	施策名 (13)広域幹線道路の整備 目 対道路(国道・県道、高速道路)利 意 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動 的 象 用者 図 できる。 基本事業名 (037)国道・高速道路の整備促進 目 対 道路利用者 意 安全で便利に国道・高速道路を利用する。 的 象 図	担当者名	富山 照夫	電話番号	0854-40-1064 (内線) 2461
予算科目		会計	款	大事業	大事業名
		014008			国道・県道整備事業
		項目		中事業	中事業名
		101501			高速道路整備関連事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (26 年度 ~ 28 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要)	加茂スマートIC開設に向けて、整備計画を策定する

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) スマートIC予備修正設計業務 スマートIC実施計画書(案)作成 29年度計画(29年度に計画する主な活動) スマートIC実施計画書作成 地区協議会開催 事業認可申請																													
	② 活動指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 関係機関協議回数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	ア 関係機関協議回数	回	2	10	10		イ						ウ						エ				
	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)																										
ア 関係機関協議回数	回	2	10	10																											
イ																															
ウ																															
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	高速道路利用者	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 高速道日平均通行台数	台	4,880	5,522	5,379	
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	市内IC数を増やし、高速道路利用者の利便性を高くする	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 市内IC数	箇所	3	3	3	
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	委託料 11,880千円(現年)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		7,871	11,880	
		事業費計(A)	千円		7,871	11,880	
人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	100	200	1,000	
		人件費計(B)	千円	389	783	3,967	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	389	8,654	15,847	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
スマートIC整備事業制度がH26.6月に改正された。 IC予定地に隣接して神原企業団地造成が計画され事業調整が必要になった。 H27.6.30に加茂BSが準備段階調査箇所を選定された。	国土交通省、島根県、NEXCOと協議をしながら進めている。 準備段階調査箇所を選定され、準備会を設立し4回開催した。 国土交通省より概算事業費について、コスト削減を求められ、13%削減した。	神原企業団地の分譲時にスマートICの開設が見込めると企業立地に有利になる。 バスストップの移設協議では乗車率が低いため、バス事業者は難色を示している。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 国土交通省、島根県、NEXCOと協議・調整している。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 廃止・休止した場合、加茂スマートICが開設できない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 統廃合はできない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 国土交通省、島根県、NEXCO等と協議し、最小限の事業費で取り組んでいる。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 加茂スマートIC整備への取り組みについては、神原企業団地造成計画や観光産業など市内全域が対象となることから、高速道路の活用方法の検討・工夫により雲南市全域が受益対象者となる。	

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 国土交通省・NEXCOと協議しながら、工事コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。
---------------	--	--

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <hr/> 平成29年度からは「加茂スマートIC整備事業」として新規事業を立ち上げる。	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		